

「国土交通省 公共事業コスト構造改革プログラム」

【施策名：(2) 計画・設計から管理までの各段階における最適化 【3】 管理の見直し】

解析モデルの見直しによる耐震補強の合理化

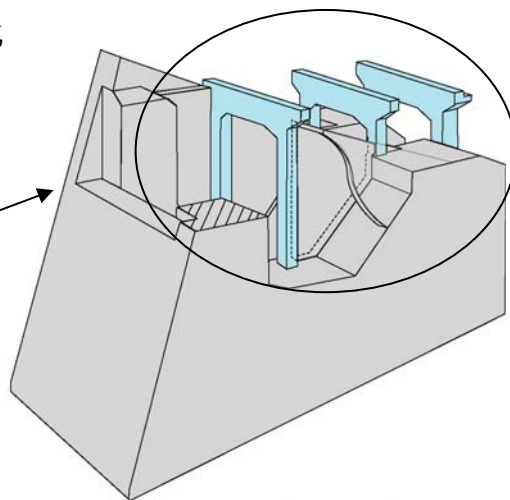
工事名：大鳴門橋上屋耐震補強工事

概要：橋脚と壁や天井が一体化した複雑な構造である大鳴門橋上屋の耐震設計において、実構造を忠実に再現したモデルを作成し、通常は考慮されない壁、梁等の強度を考慮した解析を行った結果、橋脚の補強数量が減少し、コスト削減が図られました。

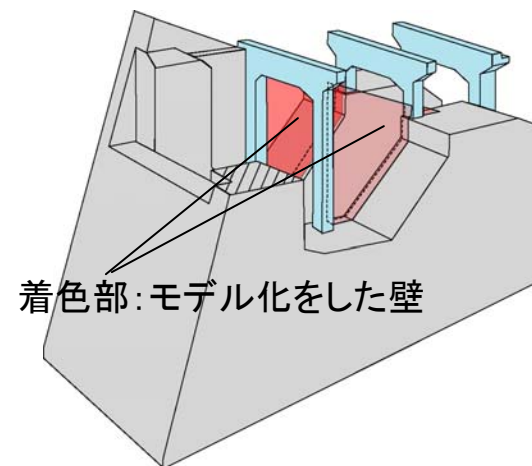
効果：橋脚と一体構造である壁の耐力を適切に評価することにより、橋脚の補強が一部不要になった。

■ **縮減額 27百万円**

(従来) 橋脚のみをモデル化



(新) 橋脚+壁をモデル化



着色部：モデル化した壁